



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第25回例会(2月9日)
平成30年2月16日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 飯塚 肇
川徳デパート内 幹 事 星 克彦
例 会 場 同上 TEL 019(651)1111(代) 会 報 伴 亨
例 会 日 毎週金曜日12時30分~ クラブ事務局 TEL 019(653)5682
http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019(653)5622

RI会長テーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE. 'ロータリー:変化をもたらす'... イアン H.S. ライズリー
盛岡RC会長テーマ —もう一度、奉仕— 飯塚 肇

2017-2018 年度

第3回クラブアッセンブリー



飯塚 肇 会長

■ クラブ奉仕委員会

〔会員増強〕 藤村文昭 委員長

会員増強委員会では、次年度、創立80周年という大きな節目に向けて、大きな目標を掲げて活動しております。7月1日現在、73名でスタートいたしました。前会員の後任の方ですが、東北電力さん、ユアテックさん、2名の入会があり、今月から公認会計士の田村賢一さんに入会いただきましたが、日本銀行の齋藤会員が転勤となり、現在の会員数は75名となっております。齋藤会員の後任の方は入会手続き中です。また、久慈ロータリー在籍経験者が入会手続き中ですので、近々、会員数は77名になる予定です。純増会員は、2名となりますが、更にリストアップ候補の中から、5名を強力に勧誘中であり、苦戦している方もおりますので、それぞれ相応しい会員にご協力をお願いしますので、その際はよろしく願いいたします。

また、盛岡ロータリークラブの紹介パンフレットにつきましては、80周年記念事業の『さだまさしショー』でも配布することとなり、3月の理事会にて原稿の承認を経て、3,000部作成予定です。

今期も残り少なくなりましたが、次年度は80周年に加えて、田中ガバナー輩出の年度となりましたので、最後まで目標達成のため努力しますので、ご支援をよろしく願います。

〔ロータリー情報〕 長野隆行 委員長

平成29年11月28日(火)、新入会員オリエンテーションを行いました。2名の新入会員と佐藤義正委員、近藤駿委員と共にロータリークラブの歴史と現況、更にはお互いの親睦を深め、意義のある会となりました。年内にもう一度委員会を開催したいと考えております。

〔会報〕 伴 亨 委員長

気がついたら会報委員になっていたわけでも無く、会報担当日の失念を繰り返す一部の委員がおりますが、当日出席の会報委員や山上さんの機転によって臨機応変に対処され、会報の発行は遅滞なく行われております。また、会報に余白が生じる場合には会報委員の随想を掲載し誌面の充実を図ってきました。この随想は広く会員から募りたいと思いますので、発表の場を持ちたいとお考えの方は投稿をお願い致します。

〔プログラム〕 荒川鉄平 委員長

年度当初に発表した「経験豊富な会員の話を聞き、伝統ある盛岡クラブの継承を！」という方針通りに、会員の皆様の多大なるご協力を得て4月第3週を除き全ての卓話者が決定しました。会員卓話を中心にしたことにより一層の交流が出来たのではないかと考えております。

年度後半のこれからの卓話は、プログラム委員

会のメンバーや現会長も含めたパスト会長シリーズなどまさしく経験豊富な会員の方々のお話が盛りだくさんですので、どうぞ例会を楽しみにお集まりいただければ幸いです。

来週はバレンタインデーでカワトクのチョコレートコーナーは大変な混雑です。

そこでなぞかけを一つ

バレンタインデーのチョコレートとかけて

一テレビ局と解く

そのころは

一どちらも包装（放送）を大切にしています。

お後がよろしいようで（^^）

〔親睦〕大平騰一 委員長

親睦委員会は毎週の例会の受付とお金の集計・ニコニコの読み上げをさせて頂いておりますが、そのほかに懇親会・家族会の開催、慶寿の会などの家族との絆を深め会員相互の親睦を深める会を行っています。

今現在、期間の三分の二を経過しまして7月の納涼家族会、10月の秋の懇親会、12月の年忘れ家族会、1月の新年慶寿の会などを行い、会員の参加も多く、それぞれ活気のある催しとなり、会員の皆様には深く感謝を申し上げます。

今後の親睦委員会の担当する行事として4月26日(木)の桜山神社での観桜会、そして6月21日(木)のターミネートパーティーが予定されています。

会員相互の親睦を深め、そして親睦委員会の個々の委員の魅力を余すところなく発揮する場としても、これからも委員会一同、力をあわせて取り組んで行きたいと考えております。

■職業奉仕委員会／勝 雅行 委員長

会員企業訪問を10月26日(木)に行いました。今年度はNHKで試験放送中のスーパーハイビジョンを映し出す次世代テレビ技術を会員34名の参加のもと行いました。

下半期に向け職業奉仕に関する卓話、職業ガイダンスなど計画して行きたいと思っております。

■社会奉仕委員会／工藤幸一 委員長

まず「アースデイ」植樹の件ですが、東日本大震災で消失した陸前高田市における高田松原の再生を支援するという方向で、陸前高田RCと相談をしてきました。

具体的には、陸前高田RCと共同で、既存の高田松原再生植栽事業を支援することとしました。平成30年4月8日(日)に当クラブ会員全員を対象として、現地参加ということで計画しています。

地域発展・環境保全委員会事業の「環境保全ポスター」は、昨年9月10日に受賞者が決定しました。盛岡ロータリーとしての表彰式は、例年通りで、3月16日の例会を予定しています。

さくら推進委員会は、来年の春に向けての事業の計画中で、植樹計画と含めて、2月13日に委員会を開催し、実施内容を協議する予定です。

■国際奉仕委員会／熊谷隆司 委員長

米山記念奨学会の創設に尽力した米山梅吉に関する卓話を2回させて頂きました。

1回目は平成29年10月13日の第12回例会で紫波町文化財調査委員の長澤聖浩氏に「米山梅吉翁と彦部村」というタイトルで米山梅吉と岩手のかかわりについてゲスト卓話をさせて頂きました。2回目は同年12月1日の第17回例会で米内正会員に「世界にとどけ米山の懸け橋」のテーマで米山梅吉の奉仕活動の実践内容について会員卓話を頂きました。これを機に米山記念奨学会とその創設者について理解を深め、奨学会への寄付などに繋がっていけば幸いです。

また、タイの米山記念奨学生のシラナットさんへの支援も三田光男会員を中心に引き続き行っています。

■青少年奉仕委員会／千葉隆史 委員長

青少年奉仕委員会の上半期の活動を報告します。

第2回クラブアッセンブリーの後に2度の委員会を開催し、青少年支援団体の見直しを行いました。その結果* [NPO ポランの広場] への支援金贈呈を継続。新たな支援先として* [NPO 法人いわて子育てネット]、* [NPO 法人インクルいわて] の2団体へ支援金贈呈、* [特定非営利活動

法人フードバンク岩手]へ食料の現物支援を行うことを決定しました。

特にこの第2四半期にはフードバンク岩手への食料品現物支援活動を軌道にのせることを重点に活動しました。この活動への協力を広く会員の皆さんに呼びかけた結果、配布しました資料のとおり、21人の会員の皆様から70品目を超える食料寄付をいただいております。また鹿島建設様、ユアテック様、テレビ岩手様からは更新時期となった会社備蓄非常食品のご寄付をいただいております。大変ありがとうございます。

来月3月は春休みで学校給食休止のため食料需要が高まる時期です。これに合わせ3月は盛岡ロータリークラブの2回目のフードドライブ強化月間となります。テーブルにフードドライブのチラシを置いております。引き続き会員の皆様のご協力よろしくお願いたします。

その他、これからの下半期には各支援先団体からゲスト卓話をいただき、それぞれの活動に対しさらに理解を深めたいと考えています。

■SAA／村井研一郎 SAA

申し上げるまでもなく、ロータリー活動の出発点は例会であります。今年度も順調に25回の例会を迎える事が出来ました。

プログラム委員長のご方針もあり、25回の例会のうち半数の12回を会員卓話で円滑に進める事が出来ました。会員各位のご協力の賜であり、親睦と交流を深める例会を進めることができた事

をご報告いたします。

■創立80周年記念委員会／白石 茂 委員長

当委員会では2019年2月23日(土)に開催される創立80周年記念事業にむけて数回の打ち合わせを行いました。

記念例会に先立ち、記念事業の一環として2018年9月17日(月)敬老の日に次世代を担う子供たちを招待して「さだまさしショー」を行う予定になっています。

その他、財団への基金寄付、ビッグフライデーの増刷等を計画。

また、創立80周年の例会内容については具体的な事柄を今後詰めて行きたいと考えています。今後とも会員皆様のご協力をお願い致します。

■会計／平野佳則 会計

第1四半期、第2四半期と上半期分の会費は、ほとんどの会員よりご入金頂いております。第3四半期よりロータリー財団への寄付および米山奨学会寄付を変更して、会費と共にお振込み頂きますよう会員皆様に通知しております。2月末日までにお振込みくださいますようお願い申し上げます。

〈寄稿〉北上川の治水・利水について

盛岡市の標高は岩手県庁地点で約 128 m です。ところで開運橋は河口からどのくらいの距離でしょう？ 正解は約 194 km です。

何を申し上げたいかというと、北上川は東北最長最大の河川でありながら、日本の河川としては勾配がかなり緩いということです。それでも上流側は勾配が比較的大きいのですが、一関市役所あたりでは海拔 31 m となり、この付近から急激に勾配が緩やかになります。さらに一関市狐禅寺あたりでは、それまで 250 m あった川幅が 100 m 位になり狭い谷が 28 km も続きます。このため北上川は勾配の緩さと狭窄部により全国でも有数の洪水の発生しやすい河川といえます。特に一関市周辺は河川流量が増えると支流河川の水が流れ込むことができず、頻繁に洪水が発生していました。逆に北上川は全川にわたり左右両岸が急峻な山岳のため支流河川の通常流量は非常に少なく昔から水争いが絶えない場所が数多くありました。

このような状況を改善するため、昭和に入り総合的な河川統制計画として「北上川上流改修計画」がまとめられました。これは堤防とダム・遊水地の貯留施設により治水・利水対策を図ろうという計画で

す。具体的にはダムと遊水地が無い場合、県境付近で 1 万 3 千立米／毎秒の流下が想定されていますが、そのうち 4 千 500 立米を貯留施設で調整(昭和 48 年計画)しようという計画です。この計画は戦後も引き継がれ、計画に基づき北上川 5 大ダムが建設されました。最初は「田瀬ダム」が着工し、次いで「石淵ダム」が胆沢川に着工後昭和 28 年竣工。その後「湯田ダム」「四十四田ダム」「御所ダム」が相次いで建設され、石淵ダムの再開発として「胆沢ダム」が平成 26 年に竣工しています。現在は「一関遊水地」の整備が進んでおり、また岩手県営ダム、農政ダム(山王海ダム)なども含めて全国でも極めて早期から計画されていた大規模河川改修は完了に近づいています。

こうした河川計画は「治水安全度」を最優先する行政と「河川環境の保全」を求める声とが対立することも多くありますが、地球温暖化による想定外の集中豪雨が毎年起こっている現在、河川改修の重要性はさらに増していると考えられます。

(参考：北上川ダム統括管理事務所 HP 他)

文責：会報委員 佐藤仁志

例会報告

第 25 回例会 平成 30 年 2 月 9 日(金)

12 時 30 分 開会点鐘

- ・司会 飯塚 肇会長
- ・ロータリーソング 我らの生業
- ・四つのテスト斉唱
- ・ビジター 樋山 桂さん(会友)
- ・会長報告 飯塚 肇会長
- ・功労者表彰 田中堯史会員 ロータリー財団マルチプルフェロー

(5 回)

- ・皆出席バッチ 橋本孝史君(3 年)。
- ・結婚祝 藤田治彦君。
- ・幹事報告 吉江信博副幹事
終了後臨時理事会
終了後第 3 回クラブアッセンブリー開催

【ニコニコ BOX】

- ◆樋山 桂君(会友) …世の中人手不足と言われていますが、当クラブも 80 周年を前に人手不足と伺っ

ております。一日も早く「会友」から「会員」に戻るようモロモロ頑張っております。

●メイクアップ

川崎マリーン=橋本君。地区=米内君。水沢東 R.C.=長澤君。北上西 R.C.=作田君。盛岡北 R.C.=大平・佐藤(仁)・佐藤(義)君。盛岡東 R.C.=熊谷(祐)君。クラブ委員会=藤村(文)・藤田・島山・岩野・三田・岡村・佐藤(重)・吉江君。

出席報告

会員数/75名

出席数/37名

出席率/52.05%

前々回/76%

プログラムのお知らせ

- ・2 月 16 日(金) 会員卓話 駒木 進 会員「今どきの葬祭事情」
- 23 日(金) 創立記念例会・卓話 佐藤義正会員

●本号編集担当/岡村 弥